TOCHIGI CITY ASSEMBLY NEWS

とちぎ市議会だより

第52号（3月定例会）
2022.4.25発行

元気はつらつ 一生青春!!

特集
新年度予算は過去最大規模（予算審査）・・・2～3
オンライン研修会を開催・・・・・・・・・・・・・・・13
市長へ提言書を提出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

工事請負契約を締結（消防庁舎新築）・・・4
（3月定例会で決まったこと）
13人の議員が市政を質す・・・・・・6～12
（一般質問）
表紙写真の説明 ・・・・・・・・・・・・・・・15

発行●栃木市議会　編集●議会広報委員会　TEL：0282-21-2505　FAX：0282-21-2688　MAIL：gikai02@city.tochigi.lg.jp

前年度比で20億6千万円の増
671億9千万円

新年度の予算や事務事業計画について「予算特別委員会」を設置し、議長を除く全議員が4つの分科会に分かれて、担当する分野を審査しました。

また、全体会では、市の各種施策を踏まえた予算編成全般について、会派の代表者による質疑を行いました。

議案第3号
令和4年度
一般会計予算

可決　賛成 22　反対 5

主な質疑応答

シティプロモーション事業費

質　具体的な取り組み内容は

答　令和3年度に実施したフルーツスイーツコンテストの受賞作品を食べ歩きしていただくスタンプラリーを計画している。また、現在、市のインスタグラムでハイキングを紹介しており、蔵の街以外の市の魅力についてもプロモーションしていきたい。

あるが嬉しい街かどピアノ設置事業費

質　事業内容は

答　栃木駅構内の南北連絡通路にグランドピアノを設置し、あらゆる世代の方に気軽にピアノを弾いていただき、音楽のジャンルを超えた交流の場にしたいと考えている。

ごみ収集車購入事業費

質　車両の用途は

答　ごみ収集に使うリフト付きの2トンダンプ車になるが、直営によるごみ収集や、自治会活動などでの収集作業、また、粗大ごみや動物の死体回収などで利用していく予定である。さらに、災害が発生したときや災害支援の際の利用も想定している。

産前産後ヘルパー派遣事業費

質　前年に比べ減額となった要因は

答　当初、週2、3回の利用を見込んでいたが、今年度の実績では週1回の利用が多かったため、減額した。

企業立地促進事業費

質　立地奨励金の交付予定件数は

答　14社への交付を予定している。

小学校及び中学校就学援助事業費

質　前年に比べ増額となった要因は

答　前年度の当初予算に計上していなかったオンライン学習通信費を当初予算で計上したためである。

美術館作品収集事業費

質　購入予定の作品は

答　鈴木賢二氏、鈴木徹氏の彫刻の作品購入を予定している。

生活道路舗装補修事業費

質　実施予定の路線数と地域別の配分は

答　30前後の路線を予定している。各地域の配分については、要望を踏まえ、地域のバランスを勘案しながら、対応していきたい。

討論（議案第3号）

反対

（白石議員） 歳入面では、サッカースタジアムの土地使用料と固定資産税の全額免除の問題がある。住民訴訟の判決は、住民側の全面勝訴となった。市は誤りを認め、控訴を撤回し、徴収すべきである。このような不公平なことが行われると、市民の納税意欲が失われ、市の財政にも大きく影響することは明らかである。市民の命と暮らし、営業を守るために十分な予算措置が取られているとは言い難いと言わざるを得ないので、反対する。

賛成

（関口議員） 総合計画や総合戦略を踏まえ、各種施策をバランスよく網羅するとともに、関係事業を有機的に連携させることにより、効果的、効率的な予算編成となっており、高く評価する。乳幼児から高齢者まで全ての世代が夢や希望をもって暮らせるまちづくりや、新型コロナウイルス感染症や自然災害に負けないまちづくりに全力で取り組み、元気あふれる栃木市を築いていただくよう期待し、賛成する。

予算審査

令和4年度一般会計予算　2年ぶりの増加
予算規模は過去最大の

一般会計の当初予算案は、市消防本部・消防署の新築工事費や都賀地域の複合施設整備費、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催事業費などにより、前年度比20億6千万円増の671億9千万円となりました。

市長からは、「令和4年度予算を『笑顔と活力あるまちづくり予算』と位置付けて市政運営を行っていく。」との説明があり、議会では予算が適切に編成されているか、しっかりと審査しました。

令和4年度の主な事業を紹介します

(仮称)渡良瀬サイクルパーク管理運営事業費　977万6千円

渡良瀬運動公園内で自転車専用コース、パンプトラックを運営する

第77回国民体育大会開催関係事業費　6億8877万8千円

いちご一会とちぎ国体

いちご一会とちぎ大会

市内7会場でハンドボール、カヌーなど、8競技を開催する

あるが嬉しい街かどピアノ設置事業費　110万円

栃木駅南北連絡通路に誰でも気軽に弾けるピアノを設置する

コウノトリ生息地環境整備事業費　277万8千円

渡良瀬遊水地でのコウノトリの定着、繁殖に向けた環境を整備する

地域施設再編モデル総合支所複合化整備事業費(都賀)　6億7998万9千円

都賀地域に複合施設(総合支所、公民館等)の新築工事を行う

がん患者支援補助金　250万4千円

医療用ウイッグや乳房補整具の購入費用等を助成する

市道各号線通学路歩道整備事業費　1550万円

通学路の安全対策として、歩道整備を行う

消防庁舎整備事業費　12億9875万5千円

消防本部・消防署庁舎の新築工事を行う

防災ハザードマップ改訂委託費　1950万3千円

浸水実績等を更新した防災ハザードマップを作成する

3月定例会で決まったこと（主な議案等）

特集ページで取り上げたもののほか、3月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。

市民の安全安心を守るための庁舎を

議案第35号　工事請負契約の締結（栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎建築工事）

可決　賛成 23　反対 4

議案の概要

栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎建築工事について、工事請負契約を締結する。

○契約方法　事後審査型条件付き一般競争入札

○契約金額　9億7570万円

○契約相手　大木・荒川・舘野特定建設工事共同企業体

主な質疑応答

質　新庁舎建設に当たり、特に重視した点は

答　市民の安全安心を守る庁舎であるということはもちろんのこと、仮眠室をすべて個室にしたり、防火衣を速やかに乾燥させるための乾燥設備を設置したり、職員の環境、待遇も重視した。

質　入札の状況は

答　3共同企業体からの応札があり、大木・荒川・舘野特定建設工事共同企業体が8億8700万円で落札し、落札率については96・00％、他の2者については、応札率98・98％、99・25％である。

※栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎に関する工事請負契約の締結については、議案第36号で電気設備工事、議案第37号で機械設備工事の議案が可決されました。

陳情第1号　日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染予防に関連する強要は違法行為であることを市民及び、職場、学校への周知徹底の陳情

不採択　全会一致

主な意見

不採択とすべき（反対）

・高齢者施設でもクラスターが発生している状況なので、PCR検査キットで防御していくことは大事だと思う。また、マスク着用による感染防止効果は認められていると思うので、過度に抑制することは問題であると考える。

・12月定例会での陳情の際には、民生常任委員会で研究会も実施した。今回の陳情では強要という言葉が強調されているが、社会の中で強要されている状況にはないと思う。

陳情第2号　新型コロナワクチンのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底と被害者相談窓口の設置に関する陳情

不採択　採　択 6　不採択 21

主な意見

不採択とすべき（反対）

・新型コロナウイルス感染症対策に関するチラシなどで市民の方に情報提供しており、リスクもベネフィットも両方よく理解していただいていると思う。また、被害者相談窓口については、市が窓口になり、国・県と情報を共有しながら救済していくことになっているので、設置しなくてもスムーズな対応が図られると感じている。

採択すべき（賛成）

・ワクチンを接種するのは個人の意思で、自由であるべきである。リスクとベネフィットの両方を知った上で、本人が選択すべきだと思う。ベネフィットについては周知できているが、リスクについては十分ではないと思う。

※陳情2件の概要は、12ページをご覧ください。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号等と発言した議員名は次のとおりです。（○＝賛成　●＝反対）

議案第3・5・6・35・36・37号　　●白石 幹男 議員　　○関口 孫一郎 議員
サッカースタジアムの調査に関する動議　　○針谷 育造 議員

討論（議案第35・36・37号）

反対（白石議員）

いずれの工事も落札率は96％前後と、非常に高い落札率になっている。全国市民オンブズマン連絡会議の調査においても、落札率95％以上を談合の疑いが極めて強いと指摘しており、今回の契約においても談合の疑いが極めて強いと言わざるを得ない。また、予定価格の事前公表については、談合が容易に行われる可能性があることなどの弊害が指摘されており、見直しを求め、反対する。

賛成（関口議員）

自然災害や、火災、救急事故などからの被害を軽減し、市民の安全安心を確保するためには、消防力の充実・強化が必要であり、防災拠点の整備が求められている。いずれの工事においても、事後審査型条件付き一般競争入札の方法により、3つの共同企業体が応札し、所定の手続きを経て、契約の相手方を決定したものである。今後においても、さらなる消防力の充実、強化を図り、安全安心で快適に暮らせるまちづくりを推進していくことを期待し、3議案に賛成する。

議案等の審議結果

3月定例会では、議案41件、陳情2件、決議案1件、動議1件が審査されました。その内、全会一致は37件（可決36・否決1）、賛否が分かれた議案等は8件でした。賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。
※陳情第1号については、賛成者はいませんでした。

賛成：○　反対：●　欠席：—

番号	件名	採決結果	1 森戸 雅孝 自民明政	2 小平 啓佑 自民未来	3 浅野 貴之 誠心	4 川上 均 日本共産党栃木市議団	5 大浦 兼政 自民未来	6 古沢ちい子 公明党議員会	7 大谷 好一 誠心	8 坂東 一敏 誠心	9 青木 一男 自民未来	10 茂呂 健市 創志会	11 内海まさかず 創志会	12 小久保かおる 公明党議員会	13 針谷 育造 創志会	14 氏家 晃 自民未来	15 入野登志子 公明党議員会	16 千葉 正弘 創政会	17 白石 幹男 日本共産党栃木市議団	18 永田 武志 自民未来	19 福富 善明 自民明政	20 広瀬 義明 無会派	21 関口孫一郎 自民未来	22 針谷 正夫 弘毅会	23 大阿久岩人 自民明政	25 松本 喜一 自民未来	26 小堀 良江 無会派	27 梅澤 米満 自民明政	28 福田 裕司 創政会	29 中島 克訓 弘毅会	30 天谷 浩明 誠心
議案第3号	令和4年度栃木市一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	議長のため採決には加わらない	○	○	○	○
議案第5号	令和4年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第6号	令和4年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第35号	工事請負契約の締結について（栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎建築工事）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第36号	工事請負契約の締結について（栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎電気設備工事）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第37号	工事請負契約の締結について（栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎機械設備工事）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
陳情第1号	日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染予防に関連する強要は違法行為であることを市民及び、職場、学校への周知徹底の陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
陳情第2号	新型コロナワクチンのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底と被害者相談窓口の設置に関する陳情	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	—	○	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	○
動議	サッカースタジアムの調査に関する動議	否決	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	—	○	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●

サッカースタジアムの調査に関する動議を否決

3月定例会最終日に、サッカースタジアムに係る使用料及び固定資産税減免の決定に至る過程が不明瞭であることを理由に、サッカースタジアムの調査に関する動議（提出者：内海議員、賛成者：川上議員、針谷育造議員、白石議員）の提出がありました。動議の内容は、減免の決定に至る経過について、特別委員会を設置して調査を行うというものです。提案理由の説明の後、質疑、討論が行われました。討論では、「今回の動議は、議会基本条例に基づく動議であり、議会の権能を十分発揮し、市長との緊張関係を保つために、ぜひ成立させ、あいまいだったことを調査するべきことをお願いする。」（針谷育造議員）との意見があり、採決の結果、賛成少数で否決されました。

浅野 貴之 議員
誠　心

個人がありのままに尊重される社会を目指して

性別や国籍、性的指向などに関わらず、個人として最大限尊重され、評価される社会であってほしいと考える。価値観の多様化や国際化、人口減少社会の到来による活力の低下など、社会環境を形成する要素は大きく変化している。

そこで、これからは既成概念にとらわれない市政運営が重要になると考えるが、ダイバーシティ社会に対する認識とこれまでの取り組み状況について伺う。

答弁 大川市長

ダイバーシティ社会の実現には女性の社会進出が重要である

ダイバーシティ社会の実現のためには、特に女性の社会進出の推進が重要であり、さらに、働き方改革の推進や、障がい者や高齢者、外国人等、さまざまな人材の活躍促進等の取り組みが必要であると考えている。

本市の取り組みとしては、平成27年11月に「栃木市男女共同参画都市宣言」を行い、平成31年4月には、「障がい者差別解消推進条例」および「栃木市手話言語条例」を制定した。

また、令和2年11月には、性的マイノリティの方の存在を公に認める「栃木市パートナーシップ宣誓制度」を実施した。

さらに、市役所内では、平成29年3月に「イクボス宣言」を行い、管理職の意識改革を図った。

●多様性社会の実現を目指して

用語解説

ダイバーシティ社会とは

性別や年齢、国籍、障がいの有無など外見的、内面的に一人一人が持つ違いを認め合える社会であるとともに、それぞれが能力を発揮し、活躍できる社会

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

古沢 ちい子 議員
公明党議員会

奨学金制度の利用者増加に向けどのような取り組みを進めるのか

教育における格差の問題やコロナ禍による影響など、学びたいのに学べない子どもたちへの支援が必要と考える。

本市として奨学金制度の利用者増加に向けて、今後どのような取り組みを進めていくのか伺う。

答弁 名淵教育次長

奨学金制度見直しのメリットを丁寧に説明していく

利用者の増加を図るために、まずは、見直し後の奨学金制度のメリットについて、多くの市民に知っていただけるように、分かりやすくPRすることが重要であると考えている。

そのため、窓口や市内各学校へ募集要項を配付する際には、制度の案内とともに、見直し後のメリットをより丁寧に説明していく。

また、応募者自身が所得基準に適合しているか判定できるように、これまでもホームページに算定シートを掲載していたが、今後は、より簡易で分かりやすいシートを作成し、配付していく。

将来的には、学力などの基準に捉われることなく、子どもの夢や意欲をくみ取り、子どもたち一人一人の将来を後押しすることができる魅力ある奨学金制度となるように、研究していく。

○子育てしやすい街づくり
●本市の奨学金制度

針谷 正夫 議員
弘毅会

ふれあいバス、蔵タクの抜本的な大幅見直しを

ふれあいバス、蔵タク事業については、市民の方々からさまざまな要望や意見があり、あっちを立てればこっちが立たずの状態だ。

本事業は10年間の「地域公共交通網形成計画」に基づいて実施されており、次年度で折り返し点になる。

SDGsやデジタル化など社会変化を考慮しつつ、まちづくり計画を十分視野に入れた上で、公共交通を今一度点検し、抜本的に見直す時ではないか。

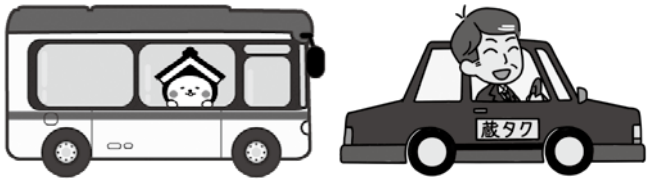
答弁 瀬下生活環境部長

交通弱者が利用しやすく、分かりやすい交通手段を目指し改善を進める

栃木市地域公共交通網形成計画は、持続可能な公共交通の実現に向けて、地域性を考慮しながら高齢者等の交通弱者が利用しやすく、分かりやすい交通手段を目指して改善を進めていく。

また、運賃のキャッシュレス決済や蔵タクのインターネット予約など、利用者のサービス向上につながるデジタル化についても検討を進めていく。

○花のあるまちづくりを
●公共交通の見直しを



地域の特性や高齢者等の交通弱者に配慮した交通手段に

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

針谷 育造 議員
創志会

スタジアム使用料と固定資産税免除は違法との判決

令和4年1月27日宇都宮地方裁判所は、市に対して公園使用料1225万1634円と固定資産税の免除をいずれも違法であるとの判決を出した。使用料、固定資産税が収入になり、市の財源となるのに、市長はこれを不服として高裁へ控訴。

市長の間違った行政処分の結果の控訴費用は、公費で払うべきでない。

宇都宮地裁の判決は、なぜ不服なのか。その根拠と控訴までの経過について、そして控訴までの訴訟費用はいくらになるのか。

答弁 大川市長・増山総合政策部長

控訴の理由は今後の裁判で明らかにする

まず、一審の判決になぜ不服なのかについては、市の主張が全く認められていないからであり、具体的な内容は、控訴理由として、今後の裁判において明らかにするものであり、申し上げることは差し控える。

次に、控訴までの経過については、判決内容は、庁内において検討するとともに、弁護士とも相談し、2月7日開催の臨時庁議において、控訴することを決定し、2月8日に控訴の手続きを行ったものである。

次に、控訴における訴訟費用は収入印紙代が3万1500円、切手代が6千円である。なお、弁護士費用については、現在協議中であり、申し上げることはできない。

●サッカースタジアム住民訴訟の判決
○学校法人栃木シティ学園の開校見込み

一審における訴訟費用は

原告側における、収入印紙代、切手代、交通費等があります。

なお、市の弁護士費用として、着手金27万5千円と55万円の範囲内での報酬金があります。

小久保 かおる 議員
公明党議員会

○婚活支援
●**ごみ処理における火災**
○帯状疱疹を未然に防ぐために

回収方法を工夫し、ごみステーションに出せないか

とちぎリサイクルプラザにおいて、破砕したごみを搬送するコンベアから発火する事態が発生した。

全国のごみ処理施設においても、誤って不燃ごみとして捨てられたリチウムイオン電池が衝撃を受けて発火したと思われる類似火災が相次いでいる。

とちぎクリーンプラザや収集車での火災を防止するために、分別することは大切だが、回収方法を工夫し、従来通りごみステーションに出せるようにできないか伺う。

答弁 瀬下生活環境部長

安全を確保できる回収方法等について研究していく

リチウムイオン電池をはじめとした小型充電式電池については、資源有効利用促進法において事業者等に回収と再資源化が義務付けられ、電機店などに設置された「充電式電池リサイクルBOX」において回収することになった。

その際、市民の利便性を考慮し、電機店での回収に加え、市役所本庁舎、各総合支所およびとちぎクリーンプラザでの回収も実施することにした。

従来通りのステーションでの回収については、市民の利便性の向上も考慮しながら、発火防止など、安全を確保できる回収方法等について、先進事例等を研究していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

千葉 正弘 議員
創政会

○大川市長のマニフェストと次期の政策
●**市議会議員の一般質問内容や提言内容等の管理と対応**

一般質問や提言内容は「情報の共有化・見える化」を

一般質問をしたことに対して、市が早急に対処していることは、実感しているし、感謝している。

しかし、要望や提言の実現に時間を要するもの、予算の確保を考えなければならないものについては、一旦記録に留めることになる。

このような時に、対処する部署だけに限らず、庁内の他部署もその内容を確認できるよう、「情報の共有化・見える化」を図っていただきたいが、執行部の見解を伺う。

答弁 増山総合政策部長

答弁内容の進捗状況についても職員間で共有できるよう努めていく

担当部署においては、対処できるものは早急に対応し、時間や予算を要するものについては、議員にしっかりと説明を行い、これを記録し、その後の進捗管理を行っている。

情報の共有化という観点では、本市における全ての事務事業について、毎年度、事務事業評価として進捗管理を行っており、その内容は全職員が共有し、公表もしているが、議会における答弁内容という視点での進捗管理は実施していなかった。

今後は、答弁した内容について、執行部としてさらに責任感を持って対応していくため、毎年の事務事業評価に加え、答弁内容の進捗状況についても、職員間で共有できるよう努めていく。

一般質問など

福富 善明 議員
自民明政

○スポーツを活かした渡良瀬遊水地の魅力アップ
○藤岡中学校の開校
●栃木市に明るい未来を

栃木市の明るい未来のために地域経済の立て直しを

令和元年東日本台風（台風19号）災害や新型コロナウイルス感染症により、影響を受けている地域経済を立て直し、活性化していくために、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答弁 秋間産業振興部長

商工経済団体等の意見や要望も伺いながら進めていく

本市ではこれまで、令和元年東日本台風災害対策として、経済復興に向けた被災者対策を講じ、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業者支援として、資金繰りや売り上げ減少に対する支援、消費喚起および感染防止対策支援など、さまざまな支援を積極的に実施してきた。

1月には「まん延防止等重点措置」が発令されたが、事業継続支援や、個人消費の喚起につながるキャッシュレス決済促進事業など、引き続き、国・県の動向を注視しながら、効果的な支援策をしっかり実施していく。

さらに、今後の地域経済の立て直しと活性化を図るため、まずは市内事業所の振興に関する指針を示した「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に基づく施策を計画的に着実に実施していくとともに、昨年12月に策定した「栃木市フードバレー構想」を具現化していくことが重要なポイントとして捉えており、商工経済団体等の意見や要望も伺いながら進めていく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

大谷 好一 議員
誠　心

○栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正
●ふれあいバスの利活用

運転免許証自主返納者に対する支援制度について

栃木警察署管内における運転免許証自主返納者は、令和元年が957人、令和2年が873人、令和3年が799人であった。

現在75歳以上に義務付けられている免許更新時の認知機能検査によっても、自主返納制度への理解が深まるものと思われる。

本市における運転免許証自主返納者に対する支援制度について伺う。

答弁 瀬下生活環境部長

ふれあいバスと蔵タクの共通乗車券1万円分を配付している

本市の運転免許証自主返納支援制度については、交通事故の減少を図るため、運転に不安を感じる方の運転免許証の自主返納を支援する制度となっている。

支援内容としては、運転免許証を自主的に返納した栃木市内に住所を有する方を対象に、ふれあいバスと蔵タクの共通乗車券1万円分をお渡ししている。

なお、運転免許証自主返納支援事業の申請者数は、令和2年度が570人、本年度は、令和4年1月末現在で422人となっている。

森戸 雅孝 議員
自民明政

この四年間を振り返って市長の思いや所感を伺う

市長の市政通信が、新聞折り込みで配布され、その中には四年間の実績や事業化された案件などが掲載されていた。

就任から一年半で台風19号による甚大な被害を受け、その復興のさなか、新型コロナウイルス感染症拡大に見舞われた。収束が見通せない中でこの二年半市政執行に腐心されてきたと思うが、二期目への挑戦に向けこの四年間を総括し課題や、やり残したことなどを伺う。

答弁 大川市長

マニフェストの事業については一定の成果は挙げられたものと感じている

私のマニフェストでお約束した地域産業の発展や、子育て環境の充実については、「栃木インター西産業団地造成事業」や「平川土地区画整理事業」の事業化をはじめ、「学童保育環境の充実」や「産前産後ヘルパー派遣事業」のほか、子育て世帯の負担軽減策として、「小学6年生及び中学3年生の給食費の無料化」を実現し、一定の成果は挙げられたものと感じている。

今後の課題としては、感染症拡大の収束が見通せない中、3回目のワクチン接種を速やかに実施するなど、市民の安全・安心を守る取り組みを進めるとともに、自然災害等に備えるため、災害に強いまちづくりを進めることが重要である。

加えて、安心して子どもを産み育てられる環境の整備や子どもたちの健全育成、安心して老後を迎えられる福祉の充実等を念頭に、地域のより一層の活性化を図る取り組みを進めていくことが必要と考えている。

●大川市政執行

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

天谷 浩明 議員
誠　心

未接種者への配慮が必要ではないか

ワクチン接種の効果や信頼度が低下しているように感じる。接種回数が2回接種から3回接種に置き換えられ、2回目接種を進めたにもかかわらず、感染者数は第5波の2倍以上となっている。

ワクチンの明確な効果・効能は検証されていない。そのような中、接種しない人への嫌がらせや差別により、学校や職場などにいられないという状況が後を絶たない。

現状について市はどのように捉えているのか伺う。

答弁 髙橋保健福祉部長

差別的行為や誹謗中傷は絶対にあってはならないことと認識している

新型コロナウイルスワクチン接種については、感染のまん延防止の観点から、予防接種法の規定に基づき、「接種を受けるよう努めなければならない」とされている。

しかし、接種は強制ではなく、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けるものである。

学校や職場などにおいて接種を強制することや、接種を受けていないことを理由とした差別的行為、誹謗中傷は絶対にあってはならないことと認識している。

○ふれあいバスの見直し
●ワクチン非接種者への誹謗中傷等
○空き地・空き家対策の更なる対応

白石 幹男 議員
日本共産党栃木市議団

○サッカースタジアム住民訴訟
○旧小野寺北小の無償譲渡
●千塚町の太陽光発電事業
○買い物困難者への支援

工事再開に当たって、より一層の安全対策を求める

この事業の許可処分については、平成30年6月に、近隣住民より許可処分の取り消しを求めて、審査請求が提出された。結果は棄却となったが、審理員から「より一層の安全対策を講ずること」の意見が付記された。開発業者に対して、最新の科学技術水準を考慮の上、浸透池の容量確保、構造の再検討など、より一層の安全対策を講ずることを求めている。処分庁の今後の対応について伺う。

答弁 秋間産業振興部長

地域住民の不安や懸念が払拭できるよう、事業者に指導していく

現在、事業者では、工法の再検討を行っている。具体的には、事業者側が現場透水試験を含む地質調査の結果を基に、浸透池の必要容量の再確認を行っており、また、令和元年東日本台風のような豪雨についても、浸透のシミュレーションを行い、安全性の確認をしているところである。

さらに、浸透池からの雨水流出に対する懸念に対して、オーバーフロー分を新たな排水管で既存排水路に接続させる方法を検討されているところであり、法面の保護についても、現場での試掘を基に、構造の再検討が行われていると伺っている。

市としては、より安全な対策を講じた計画として地域住民の不安や懸念が払拭できるよう、事業者に対して指導していく。

千塚町の太陽光発電の設置箇所

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

川上 均 議員
日本共産党栃木市議団

●新型コロナウイルス対策
○ジェンダー平等の取り組み
○大平町磯山地区

コロナ感染急拡大で「救急搬送」の問題点は

消防庁の調べでは、「救急搬送困難事案」といわれる現場から搬送するまでに30分以上かかってしまう問題が、「第6波ではコロナ前と比べて4・28倍に急増」と報告されている。救急医療に大きな困難が生じているのではないか。

コロナに伴い、搬送時間がかかる問題点や通常の救急への影響など、本市の救急搬送の状況と対策について伺う。

答弁 小島消防長

患者への問診や医療機関への受け入れ確認に時間を要している

救急搬送の状況としては、令和4年1月中の件数は504件、現場での平均滞在時間は約27分、そのうち救急搬送困難事案は50件であり、コロナ禍前の平成31年1月中の件数は605件、現場での平均滞在時間は約20分、そのうち救急搬送困難事案は29件である。

比較すると、滞在時間は平均約7分延伸しており、救急搬送困難件数は21件増加し、1・7倍となり、通常救急への影響も出ている。要因としては、コロナ禍において患者への問診や医療機関への受け入れ確認に時間を要しているためである。

対策としては、自宅療養者や感染疑い者の搬送の際に、専用の救急車や簡易の隔離用搬送資機材を使用して対応するとともに、患者の受け入れ機関の確認については、県南健康福祉センターや医療機関との連絡連携を密にすることに努めていく。

内海 まさかず 議員
創志会

○職員の定員適正化
●住民訴訟における市の対応
○市長の公約達成状況

サッカースタジアムに対する税、使用料免除の意思決定過程が不明瞭である

市の説明では、サッカースタジアムの固定資産税、使用料免除の経緯は、栃木シティFCからの要望を受け、庁議を開いて決められたとの説明であるが、栃木シティFCから要望が出された翌日に庁議が開かれ、その日のうちに免除の方針が決められている。しかし、議会に提出された資料には減免が決定された証拠が無い。誰が減免を決めたのか分からない。

固定資産税および使用料免除はどのような過程で行われ、栃木市の意思決定はどこで行われたのか。

答弁 増山総合政策部長

使用料および固定資産税の免除は市長決裁を行い、覚書を締結した

サッカー専用施設に関する使用料および固定資産税の免除については、市と会社側で締結した覚書に記載したものであるが、覚書については、令和2年3月10日の庁議において了承され、同月18日に議員研究会において説明した後、同月23日に市長決裁を行い、同日締結した。なお、こちらの資料については、議員へ提供している。

また、使用料に関する具体的な手続きとしては、株式会社日本理化工業所から提出された、施設の設置許可および減免申請について、3月24日に部長決裁により、設置許可と減免を行っている。こちらの資料についても、議員へ提供している。

なお、固定資産税に関する事務処理については、今後において行うものである。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →

▶ 新型コロナウイルスに関する2件の陳情を審査（3月定例会）

陳情第1号　**日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染予防に関連する強要は違法行為であることを市民及び、職場、学校への周知徹底の陳情**

【陳情の趣旨】

市内の職場及び学校内において、新型コロナワクチンの接種の強要、PCR検査や抗原検査による陰性証明提出の強要、及びマスク着用を強要するハラスメント問題、雇止めや退職勧奨、及び不当な解雇問題、差別やイジメによる人権侵害などを行わないよう、また、これらが違法行為であることの注意喚起を行政、労働基準監督、教育委員会から、職場及び学校宛てに、文章、ポスター、広報紙、ホームページ等で定期的に市民、使用者、労働者、学生へ連絡し周知徹底させることを求める。

陳情第2号　**新型コロナワクチンのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底と被害者相談窓口の設置に関する陳情**

【陳情の趣旨】

新型コロナワクチン接種に関して、市民が正確な判断や選択を自由にできるよう、リスクとベネフィットの両方の情報を広報紙や接種券に開示し、インフォームドコンセントの徹底をすること。また、感染状況のみではなく、ワクチン接種後の副反応、後遺症、及び死亡者の人数を市民に明らかにし、行政による被害者相談窓口を市内に設置すること。

「栃木命と人権を守る市民の会」から提出された上記の2件の陳情については、民生常任委員会で審査された後、定例会最終日の本会議において、不採択となりました。

※主な意見や採決結果については、4・5ページをご覧ください。

▶ 新型コロナ対応を中心とした補正予算を可決（1月臨時会）

1月26日に開催された臨時会では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を中心とした補正予算2件の議案が審議され、一般会計については賛成多数（賛成19:反対5）で、介護保険特別会計については全会一致で可決されました。補正予算には、議会から交付金の活用事業として提案した「農業従事者への支援」や「小中学校の自動水栓化」等も含まれています。

■交付金を活用した主な事業

①**検温測定器購入事業**・・・各総合支所や公民館等の入り口へ検温測定器を設置
②**農業経営継続支援事業**・・・農畜産物の価格低迷に苦しむ農家の経営継続を支援するため、認定農業者等への補助金を交付
③**子育て世帯への臨時特別給付金支給拡大事業**・・・所得制限により給付金の支給対象外となる世帯や離婚等により給付金を受け取れないひとり親世帯へ市独自で給付金を支給
④**小中学校トイレ自動水栓化事業**・・・トイレ水栓をセンサー式の自動水栓に交換

▶ 議員研修会をオンラインで開催

議会では、議員の資質向上を目的として、議員研修会を開催しています。

今回は、宇都宮大学の中村祐司教授を講師に迎え、「これからの地域創生と地方議会　～コロナ禍の変容を踏まえて～」をテーマに、大学と市議会議場をオンライン会議システムで結び、1月28日に開催しました。

研修会では、コロナ禍後の地域創生について分かりやすくご説明いただき、議員からも活発な質疑が行われました。

▶ ロシアによるウクライナ侵略に対して断固抗議する決議を可決

３月定例会最終日には、議員案として本決議が提出され、全会一致で可決されました。

ロシアによるウクライナ侵略に対して断固抗議する決議

ロシアによるウクライナ侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、断じて容認できるものではない。

このような軍事力を背景とした一方的な現状変更をしようとする行為は、ウクライナの主権を侵害する明らかな国連憲章・国際法違反に当たり、国際社会の秩序を根幹から揺るがすものである。既に、子どもたちを含む民間人に多数の犠牲者が出ており、心から哀悼の意を表する。

また、核兵器使用も辞さない姿勢や原発施設への攻撃・制圧は、唯一の戦争被爆国であり、福島原発事故を経験した我が国においても、核兵器の廃絶と平和で安心して暮らせる社会の実現を願い非核平和都市宣言をしている本市においても、到底看過できるものではない。

よって、栃木市議会は、国際社会の懸命の外交努力にもかかわらず、ウクライナ侵略を開始したロシア政府に対し断固抗議するとともに、国連憲章・国際法を遵守するよう強く求めるものである。

併せて、国においては、現地在留邦人の安全確保、ウクライナの主権回復及び世界の恒久平和の実現に向けて、国際社会と連携し一日も早い平和的解決に努めるよう強く要請する。

令和４年３月２２日　　栃木県栃木市議会

モニターインタビュー スペシャル（No.25、26）

今回は2人の「議会広報紙モニター」にご登場いただきました。

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。

MONITOR INTERVIEW 25

議会広報紙モニター
野尻　重利　さん

Q：モニターを受けての感想は。

A：市議会だよりを見ていて、広報委員が市議会議員で構成されていることに、少し疑問を感じました。

議会だよりの目的は、議員として議会活動をアピールするためのものでしょう。しかし、この紙面より市民のためになっているか、賛否を判断することも大事な目的であるように思えます。ぜひ、その視点に立った紙面を作成できる第三者的構成者も必要かと思いました。

Q：栃木市の農業支援についてどう思いますか。

A：まず、農業経営継続支援補助金の新設については、ありがとうございます。栃木市は、冬場の日射量の多さや肥沃な土地など、農業を営む上で大変いい条件をもっており、その条件を生かし、イチゴ、トマト等の施設園芸の産地が形成されてきました。しかし、化石燃料や肥料等の費用の高騰などにより、農家経営は厳しい状況に置かれています。農業振興のアクションプラン作成においては、農政だけの検討でなく、広く持ち得る資源・情報を有効利用できる柔軟で未来に向かってチャレンジするような取り組みができるようお願いします。

Q：栃木市に期待することはありますか。

A：次の世代になっても、住みよい市になっていることを期待します。　**（インタビュアー：森戸委員）**

MONITOR INTERVIEW 26

Q：モニターを受けての感想は。

A：依頼が来たときは不安でしたが、市政に興味を持つ良い機会にと思い、引き受けました。市議会だよりを読むようになり、議員の皆さまの思いに心を動かされました。

Q：市議会だよりで特集してほしいことはありますか。

A：食のSDGs地産地消の取り組みについて
地元の食材を使うことにより二酸化炭素の排出量を減らせるので、学校給食ではどのように取り組んでいるのか知りたいです。また、市としてのSDGsの取り組みが他にもありましたら、教えていただきたいと思います。

Q：今後の栃木市政に望むことはありますか。

A：若人や子育て世代の人たちが「住みたい」、「暮らしたい」と郷土愛に溢れる魅力ある市にしていただきたいです。公園の遊具設備、映画館、環境的に無理かもしれませんがスケート場などを作ってほしいです。また、都賀インター近辺を開発し、商業エリアを作ってほしいと思います。　**（インタビュアー：中島委員）**

議会広報紙モニター
柏﨑　洋子　さん

▶ 議会から市長へ４項目を提言（議会報告会提言書）

令和３年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場での開催に代え、書面や動画による活動報告を行い、報告に対する意見を集約しました。

また、新たな取り組みとして、市の活性化に向けた研究活動を行っている栃木商業高校ビジネス研究部とオンラインでの意見交換会を開催しました。

皆さまからいただいたご意見やご要望の中から、議会として特に重要な課題と考えるものを提言書としてまとめ、市長へ提出しました。

提言書の詳細はこちら

議会からの提言

提言1　今後に備えた新型コロナウイルス対策について

①今後の感染拡大に備えた医療・検査体制の確保
②補助金・給付金等の充実
③高齢者への情報発信を地域ぐるみで行う体制の整備

提言2　教育現場におけるタブレット端末の活用について

①情報モラル教育の推進
②健康面への配慮
③教職員へのサポート体制の充実

提言3　栃木市の魅力を生かす観光政策について

①「栃木市といえばこれ」のPR強化を
②公共交通を活用した多様なモデルルートの設定
③渡良瀬遊水地の利活用の促進

提言4　過去の提言事項の実現に向けた努力を

過去の提言事項への回答のうち、「検討する」としたものについて、必要に応じて議会に検討状況を報告するなど、継続的に取り組むこと

改選後の議員は臨時号で紹介します

令和4年4月17日に栃木市議会議員選挙が行われました。

当選した28人の議員は、6月20日発行予定の第53号（臨時号）で紹介します。

表紙の写真　元気はつらつ　一生青春!!

栃木市総合運動公園で週１回行われているグラウンドゴルフ。地域住民の方々が体を動かし、元気はつらつと楽しく活動を続けていらっしゃるところにお伺いし、撮影させていただきました。

市議会だよりの読者の皆さまに、シニアの方々がアクティブに活動されている姿をお届けいたします。

（撮影協力：川原田グラウンドゴルフ愛好会
表紙撮影：小平・中島委員）

議会広報紙モニターの皆さんからご意見をいただきました

市議会だより第46号から今号までのモニターインタビューに登場していただいた9人の議会広報紙モニターの皆さんから、感想や議員に向けてのご意見をいただきました。紙面の充実を図るため、約1年半に渡りご協力いただきまして、ありがとうございました。

質問1　モニターとして、市議会だよりや議会をご覧になった感想は

・議会の広報紙は難しいイメージでしたが、読んでみると生活に身近な情報が載っていました。
・モニターになり複数の方から声を掛けられました。とても恥ずかしかったのですが、周囲の皆さんが議会だよりを、より身近に感じてくれたとしたら良かったです。
・議員さんの質問を通して考えていることが分かるので良かった。選挙でどの候補者に投票したいかの判断材料になりました。
・今までも議会だよりや議会を拝見してきましたが、モニターとして見ると今まで以上にくまなく読むようになりました。また、高校生の意見を取り入れた紙面作りはとても良かったと思います。
・定例会で決定したことや否決されたことの情報を知ることができ、価値あるものだと感じました。
・栃木市のあらゆる様子を議会だよりで知ることができました。議員さんの日頃の活動が身に染みて分かります。
・理解しやすく読みやすい議会だよりで良いと思いました。
・自分の事として感じながら議会だよりや新聞等を見るようになりました。

質問2　今後、栃木市議会や議員に望むことは何ですか

・未来の栃木市が活力あり、住みよい市になっているよう、皆さまの働きに期待します。
・市民にとって身近な存在、困ったときに頼りになる存在でいてくれる議員であってほしいです。
・自ら行動を起こして訴えることのできない人のところに足を運んでいただき、その声を聞いて少しでも苦痛を取り除き、生活ができるように活動してほしいです。
・楽しく健やかに過ごすことができる安心で安全なまちづくりを目指して、意義ある議会となることを祈ります。
・土日に議会を開催して、より多くの市民が見られるようになると良いと思います。議員の皆さまには、より良い栃木市になるようご尽力いただきたいです。
・若い人たちが愛着を持つ魅力あるまちづくりを、そして、栃木市発展のために尽力していただきたいと思います。
・なぜ議員になったのか、最初の志を忘れないで頑張ってほしいです。
・若い人から票がとれるような政策を期待しています。

栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

今定例会では、令和4年度予算案を中心に議論が行われ、新型コロナや災害に負けない安全・安心なまちづくりに全力で取り組むための「笑顔と活力あるまちづくり予算」が成立しました。現委員で発行する市議会だよりは、今号で最後となります。多くの市民の皆さまに読んでいただこうと、表紙写真の工夫や各定例会で議論された内容や議会独自の取り組みの紹介など、分かりやすく伝えられるよう委員一丸となって努力してきました。引き続き、市民の皆さまに身近で愛着を持っていただける市議会だよりが作られるよう工夫を重ねていきますので、今後もご愛読ください。（浅野 貴之 記）

委員長　古沢 ちい子
副委員長　小平 啓佑
委員　森戸 雅孝
　浅野 貴之
　川上 均
　青木 一男
　内海 まさかず
　福田 裕司
　中島 克訓
写真アドバイザー　上原 正行

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。　〈TEL：0282-21-2505〉